

# 胃内視鏡検査 同意書

## 【胃内視鏡検査について】

内視鏡を経口あるいは経鼻的に挿入し、咽頭、喉頭、食道・胃・十二指腸を順に観察します。のどや鼻の中に局所の麻酔（スプレーなど）をします。検査時間は5分ほどです。必要時、組織検査を行います。

## 【麻酔（鎮静剤と鎮痛剤）を使用した経口胃内視鏡】

- ① 「オエッ」となり易いため、鎮静剤、鎮痛剤の使用をお勧めします。
  - ② 麻酔後、眠くなり、リラックスして検査を受けられます。
  - ③ 安全性を高めるため、呼吸・心拍モニター、酸素飽和度のモニターを装着します。
- \*検査後、リカバリールームで1時間ほどお休みしていただきます。  
鎮静剤の使用により判断力の低下、ふらつき、転倒の危険性が高まります。  
検査当日のお車の運転などはできません。

## 【経鼻内視鏡】

- ① 鼻の粘膜が擦れるため、鼻出血や痛みが生じることがあります。
- ② 鼻炎や鼻腔の形態により、内視鏡が通過しない場合は、口からの挿入に切り替えます。
- ③ 麻酔を使用しないので、検査後は自動車の運転等は問題なくできます。

## 【胃内視鏡の方法について】 ✓をしてください

- 経口法（麻酔について：使用する 相談して決める 使用しない）  
 経鼻法

## 【偶発症】

- ① 組織検査後の出血：稀ですが、帰宅後に黒色の便が続くようでしたらご連絡ください。
- ② アレルギー・鎮静剤によるもの：注射部の血管痛／薬疹／ショック／呼吸抑制等。※全国集計では偶発症は0.001%と報告されています（日本消化器内視鏡学会 全国調査 2008・2012年）
- ③ 経鼻内視鏡後の鼻出血：内視鏡が通過する際、血が出ることがあります。

ハナオカ消化器・内視鏡内科院長殿

上記内容の説明を受け、質問をする機会を得て、内容を理解しましたので、胃内視鏡検査の実施に同意いたします。なお、上記の医療を行う上で必要な処置において予期されない状況が発生した場合は、それに対処する緊急処置を受けることも併せて同意します。

年 月 日

患者様または親権者様の署名

---

確認者名

---